

壊れたおもちゃを無償で修理する  
大分おもちゃ病院事務局長

# ひと

「報酬は子どもたちの笑顔。動くようになったおもちゃを見て喜ぶ姿に、自分たちも喜びをもらっている」と目を細める。大型商業施設の一角やイベント会場などで開院し、ボランティアで診療する「おもちゃドクター」たち。「動かなくなった物に再び命を吹き込むことで、子どもたちに物を大切にすることも伝えていきたい」

全国各地にあるおもちゃ病院の県内組織を、ドクター養成講座の



## 「報酬」は子どもらの笑顔

参加者たちで立ち上げた。2年余りで持ち込まれたおもちゃは1200体以上。「思い入れのあるものはかり。それだけに気合も入る」大分市と県北（中津・宇佐）に組織があり、それぞれの地域で開院している。遠方からの持ち込みも多く、課題はドクターを増やすこと。「県内各地に組織をつくれたら。修理の講習もするので技術のあるなしは関係ない。意欲のある人にどんどん仲間に入ってほしい」と期待を寄せる。

63歳で退くまで工業計器・計測器関係の技術商社でセールスエンジニアとして働いた。子どものころから機械に興味があり、「小学生の時、祖父が大切にしていた懐中時計を分解したものの元に戻せなくて。本当に申し訳ないことをした」と苦笑い。20代のころ、風力で動くヨットの魅力にはまり、40年近く楽しんだ。

出身地の大分市で妻、長女、三女と暮らす。  
(玉井美智子)

寺司 健一さん(67)